

1 2つの整式 $A = x^3 - 2a^2x + 4a^3$, $B = x + 2a$ を x についての整式とみて, A を B で割った余りを求めよ.

(自治医科大学 2017)

2 次の にあてはまる最も適当な数または式を解答欄に記入しなさい.

(1) 多項式 $f(x) = 5x^3 - 12x^2 + 8x + 1$ を $x - 1$ で割ったときの商 $g(x)$ は $g(x) =$ ケ であり, 余りは コ である. また, $g(x)$ を $x - 1$ で割ったときの余りは サ である. さらに, 定数 コ , サ , シ , ス を用いると, x についての恒等式

$$\frac{f(x)}{(x-1)^4} = \frac{\text{コ}}{(x-1)^4} + \frac{\text{サ}}{(x-1)^3} + \frac{\text{シ}}{(x-1)^2} + \frac{\text{ス}}{x-1}$$

が成り立つ.

(2) 点 O を中心とする半径 1 の円周上の 3 点 A, B, C が

$$5\vec{OA} + 6\vec{OB} = -7\vec{OC}$$

を満たすとする. このとき $\vec{OA} \cdot \vec{OB} =$ セ であり, $|\vec{AB}| =$ ソ である. また $\angle ACB$ の大きさを θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) とすると $\sin \theta =$ タ である.

(慶應義塾大学 2015)

2015年 看護医療学部 第2問

1枚目/2枚


2 次の にあてはまる最も適当な数または式を解答欄に記入しなさい。

- (1) 多項式 $f(x) = 5x^3 - 12x^2 + 8x + 1$ を $x-1$ で割ったときの商 $g(x)$ は $g(x) = \text{ケ}$ であり、余りは 2 コ である。また、 $g(x)$ を $x-1$ で割ったときの余りは サ である。
さらに、定数 コ , サ , シ , ス を用いると、 x についての恒等式

$$\frac{f(x)}{(x-1)^4} = \frac{\text{コ}}{(x-1)^4} + \frac{\text{サ}}{(x-1)^3} + \frac{\text{シ}}{(x-1)^2} + \frac{\text{ス}}{x-1}$$

が成り立つ。

- (2) 点
- O
- を中心とする半径
- 1
- の円周上の
- 3
- 点
- A, B, C
- が

$$5\vec{OA} + 6\vec{OB} = -7\vec{OC}$$

を満たすとする。このとき $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = \text{セ}$ であり、 $|\vec{AB}| = \text{ソ}$ である。また $\angle ACB$ の大きさを θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) とすると $\sin \theta = \text{タ}$ である。

$$(1) \begin{array}{r} 5x^2 - 7x + 1 \\ x-1 \overline{) 5x^3 - 12x^2 + 8x + 1} \\ \underline{5x^3 - 5x^2} \\ -7x^2 + 8x \\ \underline{-7x^2 + 7x} \\ x + 1 \\ \underline{x - 1} \\ 2 \end{array} \quad \therefore g(x) = 5x^2 - 7x + 1, \text{ 余り } 2 //$$

$g(x)$ を $x-1$ で割った余りは、 $g(1) = -1 //$

$$\frac{f(x)}{(x-1)^4} = \frac{a}{(x-1)^4} + \frac{b}{(x-1)^3} + \frac{c}{(x-1)^2} + \frac{d}{x-1} \quad \text{として、両辺に } (x-1)^4 \text{ をかけると、}$$

$$\begin{aligned} f(x) &= a + b(x-1) + c(x-1)^2 + d(x-1)^3 \\ &= dx^3 + (c-3d)x^2 + (b-2c+3d)x + a-b+c-d \end{aligned}$$

恒等式であるから両辺の係数を比較して。

$$\begin{cases} d = 5 \\ c - 3d = -12 \\ b - 2c + 3d = 8 \\ a - b + c - d = 1 \end{cases}$$

\therefore これを解くと、 $a = 2, b = -1, c = 3, d = 5 //$

2015年 看護医療学部 第2問

2枚目 / 2枚

2 次の にあてはまる最も適当な数または式を解答欄に記入しなさい。

(1) 多項式 $f(x) = 5x^3 - 12x^2 + 8x + 1$ を $x - 1$ で割ったときの商 $g(x)$ は $g(x) =$ ケ であり、余りは コ である。また、 $g(x)$ を $x - 1$ で割ったときの余りは サ である。

さらに、定数 コ , サ , シ , ス を用いると、 x についての恒等式

$$\frac{f(x)}{(x-1)^4} = \frac{\text{コ}}{(x-1)^4} + \frac{\text{サ}}{(x-1)^3} + \frac{\text{シ}}{(x-1)^2} + \frac{\text{ス}}{x-1}$$

が成り立つ。

(2) 点 O を中心とする半径 1 の円周上の 3 点 A, B, C が

$$5\vec{OA} + 6\vec{OB} = -7\vec{OC}$$

を満たすとする。このとき $\vec{OA} \cdot \vec{OB} =$ セ であり、 $|\vec{AB}| =$ ソ である。また $\angle ACB$ の大きさを θ ($0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$) とすると $\sin \theta =$ タ である。

$$(2) |\vec{OA}| = |\vec{OB}| = |\vec{OC}| = 1$$

$$|5\vec{OA} + 6\vec{OB}|^2 = 49|\vec{OC}|^2$$

$$\therefore 25|\vec{OA}|^2 + 60\vec{OA} \cdot \vec{OB} + 36|\vec{OB}|^2 = 49|\vec{OC}|^2$$

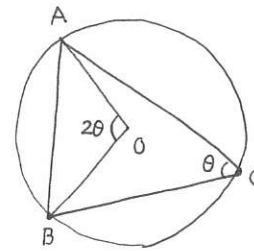
$$\therefore \underline{\underline{\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -\frac{1}{5}}}$$

$$|\vec{AB}|^2 = |\vec{OB} - \vec{OA}|^2$$

$$= |\vec{OB}|^2 - 2\vec{OA} \cdot \vec{OB} + |\vec{OA}|^2$$

$$= \frac{12}{5}$$

$$\therefore \underline{\underline{|\vec{AB}| = \frac{2\sqrt{15}}{5}}}$$



中心角と円周角の関係より、 $\angle AOB = 2\theta$ で $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -\frac{1}{5}$ より、 $\cos 2\theta = -\frac{1}{5}$

$$\therefore 1 - 2\sin^2 \theta = -\frac{1}{5}$$

$$\therefore \sin^2 \theta = \frac{3}{5}$$

$$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ \text{ より } \sin \theta \geq 0 \quad \therefore \underline{\underline{\sin \theta = \frac{\sqrt{15}}{5}}}$$